

情報公開文書（オプトアウト文書）

「トラウマに関連した精神症状に対するプラゾシンの効果に関する研究」

神奈川県立精神医療センターでは、プラゾシンを処方された患者さんを対象に、電子カルテに記載された診療録を用い「トラウマに関連した精神症状に対するプラゾシンの効果」に対し調査する研究を実施しています。この研究は、トラウマに関連した精神症状を有する患者さんの今後の薬物療法の選択肢を広げるために役立つと考えております。

研究課題名	トラウマに関連した精神症状に対するプラゾシンの効果に関する研究
研究の対象	2024 年 10 月～2025 年 9 月の間に神奈川県立精神医療センターに通院および入院され、本研究責任者が担当し、プラゾシンを処方し、処方開始理由が明確である方を対象とします。
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	トラウマに関連した精神症状に対する薬物療法の選択肢を広げる目的のため、病名や精神症状の改善の有無などを調査し、プラゾシンの精神症状に対する効果を検討します。ただし、患者さん個人が特定できないように匿名化して調査するため、個人情報が入外部に漏れることはありません。プライバシーには十分に配慮します。
研究期間	承認日～2026 年 6 月まで
研究に使用する試料・情報の種類	電子カルテの診療録情報（プラゾシン処方開始時年齢、性別、精神科診断、処方開始時の標的精神症状、改善の有無、改善した場合のプラゾシンの用量、主訴、生育歴、現病歴、既往歴など）
研究実施期間（研究組織）	主研究機関：神奈川県立精神医療センター 研究責任者：西村 康平
外部への試料・情報の提供とその方法	外部への試料・情報の提供はいたしません。
情報の管理について責任を有する者・所属	西村康平（神奈川県立精神医療センター）

本研究はヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2022 年 4 月 1 日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報が入外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

本研究は神奈川県立精神医療センター依存症診療科内で実施しております。研究者は企業等から独立し

て計画を立案し実施いたしますので、開示すべき利益相反はありません。本研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データから情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることはございません。尚、調査と検討が進み統計的処理が実施、公表された場合には、情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口は神奈川県立精神医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先： 研究責任者 西村 康平
地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel : 045-822-0241